

## 資料 1

腸管ペーチェット・単純性潰瘍コンセンサス・ステートメント改訂ワーキンググループ

久松理一	慶應義塾大学医学部消化器内科
平井郁仁	福岡大筑紫病院消化器内科
松本主之	岩手医大内科学消化器内科消化管分野
小林清典	北里大学医学部新世紀医療開発センター
長堀正和	東京医科歯科大学消化器内科
松下光伸	関西医科大学内科学第三講座（消化器肝臓内科）
小林健二	亀田京橋クリニック 消化器内科
小金井一隆	横浜市立市民病院外科
国崎玲子	横浜市立大学附属市民総合医療センター・炎症性腸疾患(IBD)センター
岳野光洋	横浜市立大学附属病院 臨床検査部
岸本暢将	聖路加国際病院 Immuno-Rheumatology Center
上野文昭	大船中央病院
田中正則	弘前市立病院臨床検査科

\*所属は平成 26 年 12 月時点でのもの

## 腸管ベーチェットと trisomy 8 の関連性の実態調査

研究分担者 松本 主之 岩手医科大学内科学講座消化器内科消化管分野 教授

研究要旨：ベーチェット病の一部の患者に骨髄異形性症候群（MDS）が合併することが知られており、特に trisomy 8 を有する症例が多数を占める。一方、trisomy 8 を有する MDS では消化管病変を合併しやすいことも報告されている。本調査では trisomy 8 に合併する消化管病変と腸管ベーチェット病の相違点を明らかにすることで病態解明へつなげることを目的とし、まず本邦の実態を明らかにすべく全国調査を開始する。

### 共同研究者

岡崎和一 関西医科大学第三内科  
久松理一 慶應義塾大学医学部消化器内科  
仲瀬裕志 京都大学大学院医学研究科消化器内  
科  
江崎幹宏 九州大学病態機能内科学  
深田憲将 関西医科大学第三内科

布から典型的な腸管ベーチェット病と異なる場合も見られる。さらに trisomy 8 を合併した腸管ベーチェット病は治療抵抗性で難治性という報告が多い。以上の事実から両者の関係性を明らかにすることは、腸管ベーチェットの病態解明の上で大きなヒントとなることが予想される。しかしながら、本邦での実態は明らかでなく、今回、鈴木班の新たなプロジェクトとして本研究が立案された。

### A. 研究目的

腸管ベーチェット病はベーチェット病の病型分類では特殊型に分類され、穿孔や出血により腸管切除を含めた頻回の手術を余儀なくされることもあり予後不良因子の一つとされている。腸管ベーチェット病の病態はいまだに不明であるが、近年、抗 TNF・抗体製剤の有効性が報告されており炎症性サイトカインの過剰産生が関与していることが推測されている<sup>1</sup>。以前よりベーチェット病の一部に骨髄異形性症候群（MDS）が合併することが報告されており、特に trisomy 8 の頻度が高い。trisomy 8 を合併したベーチェット病では腸管病変を有する例が多いこと<sup>2-4</sup>、また MDS 側から見た場合も trisomy 8 を有する症例で腸管病変を有することが多いこと<sup>5</sup>が明らかとなっており、腸管ベーチェット病と trisomy 8 は病態の面から相関性があることが推測される。いっぽうで、trisomy 8 に合併する消化管病変はその形態、分

- 1) Hisamatsu T, Ueno F, Matsumoto T, Kobayashi K, Koganei K, Kunisaki R, Hirai F, Nagahori M, Matsushita M, Kobayashi K, Kishimoto M, Takeno M, Tanaka M, Inoue N, Hibi T. The 2nd edition of consensus statements for the diagnosis and management of Intestinal Behçet's Disease - Indication of anti-TNF・monoclonal antibodies. J Gastroenterol. 2014 Jan;49(1):156-62.
- 2) Toyonaga T, Nakase H, Matsuura M, Minami N, Yamada S, Honzawa Y, Hukata N, Yoshino T, Chiba T, Okazaki K. Refractoriness of intestinal Behçet's disease with myelodysplastic syndrome involving trisomy 8 to medical therapies - our case experience and review of the literature. Digestion. 2013;88(4):217-21.

Review.

3) Tada Y, Koarada S, Haruta Y, Mitamura M, Ohta A, Nagasawa K. The association of Behçet's disease with myelodysplastic syndrome in Japan: a review of the literature. Clin Exp Rheumatol. 2006 Sep-Oct;24(5 Suppl 42):S115-9. Erratum in: Clin Exp Rheumatol. 2007 May-Jun;25(3):507-8.

4) Ahn JK, Cha HS, Koh EM, Kim SH, Kim YG, Lee CK, Yoo B. Behçet's disease associated with bone marrow failure in Korean patients: clinical characteristics and the association of intestinal ulceration and trisomy 8. Rheumatology (Oxford). 2008 Aug;47(8):1228-30.

5) Kimura S, Kuroda J, Akaogi T, Hayashi H, Kobayashi Y, Kondo M. Trisomy 8 involved in myelodysplastic syndromes as a risk factor for intestinal ulcers and thrombosis--Behçet's syndrome. Leuk Lymphoma. 2001 Jun;42(1-2):115-21. Review.

## B. 研究方法

鈴木班の研究分担者松本をプロジェクトリーダーとして研究協力者を中心にアンケートを作成し、どのくらいの対象患者が存在するかについて一次全国アンケート調査を行う（添付資料 1）。消化器内科医のみならず、腸管ベーチェット病の診療に関与する消化器外科医、リウマチ膠原病内科医、MDS の診療に携わる血液内科医も含める。（倫理面への配慮）

一次アンケート調査である本調査は患者個人情報を含むものではないため倫理的に問題はない。

## C. 研究結果

2014 年度に班で討議を重ね添付資料のアンケー

ト調査用紙を作成し全国調査を開始した。

## D. 考察

この一次調査により全国に trisomy 8 合併腸管ベーチェット病、あるいは trisomy 8 に合併した消化管病変の実態が把握できると考えられる。そのうえで、中央施設である岩手医科大学の倫理申請承認ののち、個人情報に関して十分配慮をしたうえで症例を有する各施設からカルテ情報、内視鏡所見、治療内容と成績などを収集する。最終的には trisomy 8 に合併する消化管病変の内視鏡アトラスを作成し、一般的な腸管ベーチェット病との相違点について実地臨床医へ情報を還元するとともに、抗 TNF $\alpha$  抗体治療の有効性の違いなどを明らかにすることで病態解明の一助となる可能性がある。

## E. 結論

腸管ベーチェットと trisomy 8 の関連性に関する全国実態調査を開始した。

## F. 健康危険情報

なし

## G. 研究発表

本年度は調査開始年であるため研究発表はない。

## H. 知的財産権の出願・登録状況

（予定を含む）

### 1. 特許取得

該当せず

### 2. 実用新案登録

該当せず

### 3. その他

特記すべきことなし

## 資料 1

腸管ペーチェット・単純性潰瘍と trisomy 8 に関する実態調査

ご氏名：

ご所属：

ご施設名：

● 回答者の背景

Q 1. 回答者の専門

- 消化器内科     消化器外科     リウマチ膠原病内科  
 血液内科     その他 (       )

Q 2. 腸管ペーチェット病・単純性潰瘍の診療実績 (施設実績)

- ~10人     11~30人     31~50人     50人以上

Q 3. 腸管ペーチェット病・単純性潰瘍の診療実績 (個人としての診療経験)

- ~10人     11~30人     31~50人     50人以上

Q 4. Trisomy 8 の診療経験 (腸管病変の有無は問わず)

- ある (       ) 人     ない

Q 5. 腸管病変を伴った Trisomy 8 の診療経験がある。

- ある (       ) 人     ない

\* Q 5 で “ない” と回答された方はここで終了です。“ある” と回答された方は次にお進みください。

## 資料 1

- 腸管病変を伴った trisomy 8 症例について

Q 6. Trisomy 8 の併存造血器疾患について (複数回答可)

- MDS            再生不良性貧血            その他 (            )  
造血器疾患は合併せず

Q 7. 腸管病変を伴った trisomy 8 症例について。厚生労働省バーチェット病診断基準 (2003 年) に基づいて判定した場合

- 完全型に分類される (    ) 例  
不全型に分類される (    ) 例  
疑いに分類される (    ) 例  
全くバーチェット兆候を認めない (    ) 例

\*厚生労働省バーチェット病診断基準 (2003 年) (添付資料)

Q 8. 腸管病変の特徴について。

- 腸管バーチェット・単純性潰瘍に典型的な回盲部潰瘍病変を伴う (    ) 例  
腸管バーチェット・単純性潰瘍に典型的な回盲部潰瘍病変を伴わない (    ) 例

Q 9. 腸管病変の特徴について、病変部位は (観察範囲内で。複数回答可)

- 食道 (    ) 例  
胃・十二指腸 (    ) 例  
小腸 (    ) 例  
回盲部 (    ) 例  
大腸 (    ) 例

ご協力有難うございました。

厚生労働科学研究 難治性疾患克服研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」(鈴木班)

班長：            鈴木康夫    東邦大学医療センター佐倉病院消化器内科

研究分担者：   松本主之    岩手医大内科学消化器内科消化管分野

研究協力者：   岡崎和一    関西医科大学第三内科

                  久松理一    慶應義塾大学医学部消化器内科

                  仲瀬裕志    京都大学大学院医学研究科 消化器内科

                  江崎幹宏    九州大学病態機能内科学

                  深田憲将    関西医科大学第三内科

### Ⅲ. 研究成果の刊行に関する一覧

研究成果の刊行に関する一覧表(書籍)

執筆者氏名	論文題名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	ページ	出版年
内野 基, 池内浩基	【IBD患者の予後】潰瘍性大腸炎術後患者の長期予後と回腸嚢炎	渡辺 守	現場のエキスパートが教える実践! IBD診療	医学出版	東京	174-179	2014
久松理一(日比紀文, 金井隆典 監修)	外来で診る消化管疾患		Medical Science Digest	北隆館	国内	p51-53	2014
杉田 昭, 小金井一隆	J型回腸嚢、結腸嚢の作製法	杉原健一	Knack & Pitfalls 大腸・肛門外科の要点と盲点	株式会社文光堂	東京	136-140	2014
杉田 昭, 小金井一隆	潰瘍性大腸炎の外科治療	杉原健一	Knack & Pitfalls 大腸・肛門外科の要点と盲点	株式会社文光堂	東京	306-313	2014
杉田 昭	潰瘍性大腸炎に対する標準治療	杉原健一	Knack & Pitfalls 大腸・肛門外科の要点と盲点	株式会社文光堂	東京	314-316	2014
大塚和朗, 渡辺大輔, 小形典之, 長堀正和, 藤井俊光, 齊藤詠子, 和田祥城, 荒木昭博, 渡辺 守	【日常遭遇する大腸炎の鑑別-内視鏡を中心に】サルモネラ腸炎(解説/特集)	「Intestine」編集委員会	Intestine	日本メディカルセンター	東京	18(4) 373-377	2014
長堀正和	1IBD診療のコツ 1-4 IBDを診断するうえでのポイント	総編集: 渡辺守 編著: 久松理一, 渡辺憲治	現場のエキスパートが教える実践! IBD診療	医学出版	東京	30-31	2014
長堀正和	2各治療の最適化とコツ 2-1 基本原則: どのように考えるか?	総編集: 渡辺守 編著: 久松理一, 渡辺憲治	現場のエキスパートが教える実践! IBD診療	医学出版	東京	90-95	2014
堀 和敏, 横山陽子, 中村志郎	潰瘍性大腸炎	八尾恒良	胃と腸アトラス I 上部消化管	医学書院	東京	155	2014
Matsui T, Matsumoto T, Aoyagi K	Endoscopy in the diagnosis of small intestine diseases.	Matsui T, Matsumoto T, Aoyagi K	Endoscopy in the diagnosis of small intestine diseases.	Springer	Japan	1-283	2014
板橋道朗	B大腸6. 潰瘍性大腸炎c 大腸全摘回腸嚢肛門吻合術	亀岡信悟, 板橋道朗, 松田年, 向井正哉	HALS 助手補助腹腔鏡下手術の実際	南江堂	東京	186-197	2014
金城福則	細菌性赤痢	山口 徹, 北原光夫	今日の治療指針 2014	医学書院	東京	202-203	2014
荒木俊光, 内田恵一, 楠正人	潰瘍性大腸炎に対する大腸全摘回腸嚢肛門吻合術の開発	楠 正人	大腸外科学書	金芳堂	京都市	335-386	2014
荒木俊光, 三木誓雄, 内田恵一, 楠 正人	大腸全摘・直腸粘膜切除・回腸嚢肛門吻合術の実際	楠 正人	大腸外科学書	金芳堂	京都市	387-410	2014
大北喜基, 荒木俊光, 楠正人	クローン病	楠 正人	大腸外科学書	金芳堂	京都市	411-442	2014
小林 拓	各治療の最適化とコツ-治療薬を使いこなす「シクロスポリン(CSA)・タクロリムス(TAC)	渡辺 守	実践! IBD診療	医学出版	東京	126-131	2014
佐々木誠人	「粘膜治療」って本当のところ何なの?	渡辺 守	実践! IBD診療	医学出版	東京	58-59	2014
Tahara T, Shibata T, Okubo M, Ishizuka T, Nakamura M, Nagasaka M, Nakagawa Y, Ohmiya N, Arisawa T, Hirata I	DNA methylation status of epithelial-mesenchymal transition (EMT)-related genes is associated with severe clinical phenotypes in ulcerative colitis (UC)	Peter Binfield	PLoS One.	Public Library of Science	米国	9(10) e107947	2014
藤谷幹浩, 高後 裕	Cronkhite-Canada 症候群	渡辺 守, 田中信治	画像で見ぬく消化器疾患 vol. 2 大腸	医学出版	東京	191-193	2014
Kanauchi O, Mitsuyama K, Andoh A	Chapter 39: Germinated barley food stuff dampens inflammatory bowel disease	Watson RR, et al eds	Wheat and Rice in Disease Prevention and Health, 1st Edition	Elsevier	Amsterdam	507-519	2014
渡辺憲治	クローン病の適切な診療のために	渡辺 守, 久松理一, 渡辺憲治	実践! IBD診療	医学出版	東京	14-17	2014

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Tanida S, Inoue N, Kobayashi K, Naganuma M, Hirai F, Iizuka B, Watanabe K, Mitsuyama K, Inoue T, Ishigatsubo Y, Suzuki Y, Nagahori M, Motoya S, Nakamura S, Arora V, Robinson AM14, Thakkar RB, Hibi T	Adalimumab for the Treatment of Japanese Patients With Intestinal Behçet's Disease	Clinical Gastroenterology and Hepatology			2015
Suzuki Y, Motoya S, Hanai H, Matsumoto T, Hibi T, Robinson AM, Mostafa NM, Chao J, Arora V, Camez A, Thakkar RB, Watanabe M	Efficacy and safety of adalimumab in Japanese patients with moderately to severely active ulcerative colitis	J Gastroenterol	49(2)	283-29	2014
Hibi T, Sakuraba A, Watanabe M, Motoya S, Ito H, Sato N, Yoshinari T, Motegi K, Kinouchi Y, Takazoe M, Suzuki Y, Matsumoto T, Kawakami K, Matsumoto T, Hirata I, Tanaka S, Ashida T, Matsui T	C-reactive protein is an indicator of serum infliximab level in predicting loss of response in patients with Crohn's disease	J.Gastroenterol	49(2)	254-262	2014
Andoh A, Kobayashi T, Kuzuoka H, Tsujikawa T, Suzuki Y, Hirai F, Matsui T, Nakamura S, Matsumoto T, Fujiyama Y	Characterization of gut microbiota profiles by disease activity in patients with Crohn's disease using data mining analysis of terminal restriction fragment length polymorphisms	BIOMEDICAL REPORTS	2(3)	370-373	2014
Suzuki Y, Uchiyama K, Kato M, Matsuo K, Nakagawa T, Kishikawa H, Kimura N, Kasanuki J, Ino S	Potential Utility of a New Ulcerative Colitis Segmental Endoscopic Index Combining Disease Severity and the Extent of Inflammation	J Clin Gastroenterol	0(00)	1-6	2014
鈴木康夫	特別寄稿論文：潰瘍性大腸炎に対する新たな治療戦略	京都消化器医学会報 30号	30	33-36	2014
鈴木康夫	Q&A-専門医に聞く IBD	IBD Research	8(3)	207-210	2014
竹内 健, 宮村美幸, 新井典岳, 笠井ルミ子, 山田哲弘, 寺田一志, 鈴木康夫	特集：CT colonography の現状と将来【各論(7) 炎症性腸疾患における CT colonography の意義】	臨床消化器内科	29(10)	1379-1385	2014
竹内 健, 新井典岳, 宮村美幸, 笠井ルミ子, 山田哲弘, 岡住慎一, 寺田一志, 鈴木康夫	特集：炎症性腸疾患の画像診断 modality【CT-IBD における CT enterography と CT colonography】	INTESTINE	18(2)	167-173	2014
鈴木康夫	特集：腸管ペーチェット病と単純性潰瘍【序説】	INTESTINE	18(6)	537-538	2014
竹内 健, 新井典岳, 鈴木康夫	特集：炎症性腸疾患攻略の手引き-これだけは知っておきたい！【必要な検査-正確な診断のために何をどう行うか？【CT/MRI/超音波検査を使いこなす！】	medicina	51(6)	1042-1046	2014
竹内 健, 徳山 宣, 鈴木康夫	画像を診る(93)-鑑別診断のポイント【潰瘍性大腸炎に併発した前癌病変】	消化器の臨床	17(5)	515-518	2014
鈴木康夫	特集：IBD 診療におけるインフォームド・コンセントのためのエビデンスを見直す【内科医の立場から① クロウン病患者に治療の選択をする際の EBM-治療法決定に際して-】	IBD Research	8(4)	252-257	2014
Andoh A, Kobayashi T, Kuzuoka H, Tsujikawa T, Suzuki Y, Hirai F, Matsui T, Nakamura S, Matsumoto T, Fujiyama Y	Characterization of gut microbiota profiles by disease activity in patients with Crohn's disease using data mining analysis of terminal restriction fragment length polymorphisms	Biomed Rep.	2(3)	370-373	2014
安藤 朗	特集：腸内細菌研究の展望 腸内細菌は炎症性腸疾患 (IBD) とどのように関係しているか	分子消化器病	11(3)	7(215)-12(220)	2014
池内浩基	炎症性腸疾患の外科治療-兵庫医大の現状-	兵庫医科大学医学雑誌	39(1)	19-23	2014
池内浩基, 内野 基, 松岡宏樹, 坂東俊宏, 広瀬 慧, 平田晃弘, 佐々木寛文	術式別の術前・術中・術後管理 小腸・大腸 大腸全摘術	臨床外科	69(11) 増刊号	138-141	2014
坂東俊宏, 内野 基, 松岡宏樹, 中埜廣樹, 池内浩基	潰瘍性大腸炎の術後の生徒がいます-潰瘍性大腸炎とは (UC) とは ふだんの生活で気をつけるとよいこと	健	43(5)	10-12	2014
松岡宏樹, 内野 基, 坂東俊宏, 広瀬 慧, 平田晃弘, 蝶野晃弘, 佐々木寛文, 池内浩基	特集：大腸癌治療-課題克服のための新たなストラテジー-潰瘍性大腸炎関連腫瘍の臨床的問題とその対策	消化器の臨床	17(4)	356-360	2014
内野 基, 池内浩基, 松岡宏樹, 坂東俊宏, 広瀬 慧, 平田晃弘, 佐々木寛文, 富田尚裕, 一木 薫, 中嶋一彦, 植田貴史, 高橋佳子, 竹末芳生	【細菌性腹膜炎】炎症性腸疾患における穿孔性腹膜炎の治療	日本外科感染症学会雑誌	11(2)	139-146	2014
Uchino Motoi, Ikeuchi Hiroki, Matsuoka Hiroki, Bando Toshihiro, Ichiki Kaoru, Nakajima Kazuhiko, Takahashi Yoshiko, Tomita Naohiro, Takesue Yoshio	Catheter-associated bloodstream infection after bowel surgery in patients with inflammatory bowel disease	Surgery today	44(4)	677-684	2014



研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
内野 基, 池内浩基	外科学の古典を読む(第40回) Crohn 病の原典	外科	76(4)別冊	404-407	2014
松岡宏樹, 内野 基, 坂東俊宏, 平田晃弘, 広瀬 慧, 佐藤寿行, 河合幹夫, 野上晃司, 上小鶴孝二, 横山陽子, 飯室正樹, 樋田伸幸, 中村志郎, 池内浩基	IBD 治療のピットフォール(第1回) クロウン病出血例に対する治療戦略	IBD Research	8(1)	50-55	2014
池内浩基, 内野 基, 松岡宏樹, 坂東俊宏, 平田晃弘, 広瀬 慧, 佐々木寛文	潰瘍性大腸炎に対する外科治療 Diverting ileostomy は必要か	外科	76(3)	256-260	2014
池内浩基, 内野 基, 松岡宏樹, 坂東俊宏, 広瀬 慧, 平田晃弘, 佐々木寛文	ここまで来た, 炎症性腸疾患の新展開 潰瘍性大腸炎の外科治療-近年の変化	成人病と生活習慣病	44(3)	316-320	2014
Kono Tomoaki, Hida Nobuyuki, Nogami Koji, Iimuro Masaki, Ohda Yoshio, Yokoyama Yoko, Kamikozuru Koji, Tozawa Katsuyuki, Kawai Mikio, Ogawa Tomohiro, Hori Kazutoshi, <u>Ikeuchi Hiroki</u> , Miwa Hiroto, Nakamura Shiro, Matsumoto Takayuki	Prospective postsurgical capsule endoscopy in patients with Crohn's disease	World Journal of Gastro-intestinal Endoscopy	6(3)	88-98	2014
Uchino Motoi, Matsuoka Hiroki, Bando Toshihiro, Hirata Akihiro, Sasaki Hirofumi, Hirose Kei, Takesue Yoshio, Nakamura Shiro, Tomita Naohiro, <u>Ikeuchi Hiroki</u>	Clinical features and treatment of ulcerative colitis-related severe gastroduodenitis and enteritis with massive bleeding after colectomy	International journal of colorectal disease	29(2)	239-245	2014
桑原隆一, 内野 基, 池内浩基	疾患&治療の理解からケアポイントまで クロウン病はやわかりガイド (1) まずは押さえよう! クロウン病の原因・発生部位・症状・診断・合併症 (2) これでばっちり! クロウン病の治療とケア	日本臨牀	72(1)	70-87	2014
<u>Ikeuchi Hiroki</u> , Uchino Motoi, Matsuoka Hiroki, Bando Toshihiro, Hirata Akihiro, Takesue Yoshio, Tomita Naohiro, Matsumoto Takayuki	Prognosis following emergency surgery for ulcerative colitis in elderly patients	Surgery today	44(1)	39-43	2014
Kawa S, <u>Okazaki K</u> , Notohara K, Watanabe M, Shimosegawa T; Study Group for Pancreatitis Complicated with Inflammatory Bowel Disease organized by The Research Committee for Intractable Pancreatic Disease (Chairman: Tooru Shimosegawa) and The Research Committee for Intractable Inflammatory Bowel Disease (Chairman: Mamoru Watanabe), both of which are supported by the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan	Autoimmune pancreatitis complicated with inflammatory bowel disease and comparative study of type 1 and type 2 autoimmune pancreatitis	J Gastroenterol	10.1007	s00535-014-1012-5	2014
Fukata N, <u>Okazaki K</u> , Oniya M, Matsushita M, Watanabe M; Members of the Ministry of Health and Welfare of Japan's Inflammatory Bowel Diseases Study Group	Hematologic malignancies in the Japanese patients with inflammatory bowel disease	J Gastroenterol	49(9)	1299-1306	2014
Naganuma M, Hosoe N, <u>Ogata H</u>	Inflammatory bowel disease and novel endoscopic technologies	Dig Endosc.	26(Suppl)	20-8	2014
Sugimoto S, Hosoe N, Mizukami T, Tsunoda Y, Ito T, Imamura S, Tamura T, Nagakubo S, Morohoshi Y, Koike Y, Fujita Y, Komatsu H, <u>Ogata H</u> , Kanai T	Effectiveness and clinical results of endoscopic management of sigmoid volvulus using unsedated water-immersion colonoscopy	Dig Endosc.	26(4)	564-8	2014
Usui S, Hosoe N, Matsuoka K, Kobayashi T, Nakano M, Naganuma M, Ishibashi Y, Kimura K, Yoneno K, Kashiwagi K, Hisamatsu T, Inoue N, Serizawa H, Hibi T, <u>Ogata H</u> , Kanai T	Modified bowel preparation regimen for use in second-generation colon capsule endoscopy in patients with ulcerative colitis	Dig Endosc.	26(5)	665-72	2014
Yoneno K, Hisamatsu T, Matsuoka K, Okamoto S, Takayama T, Ichikawa R, Sujino T, Miyoshi J, Takabayashi K, Mikami Y, Mizuno S, Wada Y, Yajima T, Naganuma M, Inoue N, Iwao Y, <u>Ogata H</u> , Hasegawa H, Kitagawa Y, Hibi T, Kanai T	Risk and management of intra-abdominal abscess in Crohn's disease treated with infliximab	Digestion.	89(3)	201-8	2014
Naganuma M, Hisamatsu T, Kanai T, <u>Ogata H</u>	Magnetic resonance enterography of Crohn's disease	Expert Rev Gastroenterol Hepatol.	Epub ahead of print		2014

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Hosoe N, Naganuma M, <u>Ogata H</u>	Current status of capsule endoscopy through a whole digestive tract	Dig Endosc.	27(2)	205-15	2014
Miyoshi J, Hisamatsu T, Matsuoka K, Naganuma M, Maruyama Y, Yoneno K, Mori K, Kiyohara H, Nanki K, Okamoto S, Yajima T, Iwao Y, <u>Ogata H</u> , Hibi T, Kanai T	Early intervention with adalimumab may contribute to favorable clinical efficacy in patients with Crohn's disease	Digestion.	90(2)	130-6	2014
岩男 泰, 下田将之, 杉野吉則, 浦岡俊夫, 吉田論史, 井上 詠, 小林 拓, 松岡克善, 長沼 誠, 久松理一, 緒方晴彦, 金井隆典, 長谷川博俊, 三上修治, 亀山香織, 八尾隆史	内視鏡検査からみた colitic cancer の初期病変拡大内視鏡所見を中心に	胃と腸	49(10)	1464-78	2014
Wada Y, Hisamatsu T, Naganuma M, Matsuoka K, Okamoto S, Inoue N, Yajima T, Kouyama K, Iwao Y, Ogata H, Hibi T, Abe T, <u>Kanai T</u>	Risk Factors for Decreased Bone Mineral Density in Japanese Patients with Inflammatory Bowel Disease: A Cross-Sectional Study	Clin Nutr			in press
Kiyohara H, Hisamatsu T, Matsuoka K, Naganuma M, Kameda H, Seta N, Takeuchi T, <u>Kanai T</u>	K. A case of Crohn's disease that developed aortitis during treatment with adalimumab	Intern Med.	3	1-9	in press
Matsuoka K, <u>Kanai T</u>	Gut microbiota and inflammatory bowel disease	Seminars in Immunopathol.	37(1)	47-55	2014
Saigusa K, Hisamatsu T, Handa T, Sujino T, Mikami Y, Hayashi A, Mizuno S, Takeshita K, Sato T, Matsuoka K, <u>Kanai T</u>	Classical Th1 cells obtain colitogenicity by co-existence of ROR $\gamma$ t-expressing T cells in experimental colitis	Inflamm Bowel Dis.	20(10)	1820-7	2014
Miyoshi J, Hisamatsu T, Matsuoka K, Naganuma M, Maruyama Y, Yoneno K, Mori K, Kiyohara H, Nanki K, Okamoto S, Yajima T, Iwao Y, Ogata H, Hibi T, <u>Kanai T</u>	Early intervention with adalimumab may contribute to favorable clinical efficacy in patients with Crohn's disease	Digestion.	90(2)	130-6	2014
Naganuma M, Hisamatsu T, <u>Kanai T</u> , Ogata H	Magnetic resonance enterography of Crohn's disease	Review Expert Rev Gastroenterol Hepatol.	9(1)	37-45	2014
Mizuno S, Mikami Y, Kamada N, Handa T, Hayashi A, Sato T, Matsuoka K, Matano M, Ohta Y, Sugita A, Koganei K, Sahara R, Takazoe M, Hisamatsu T, <u>Kanai T</u>	Cross-talk between ROR $\gamma$ t+ innate lymphoid cells and intestinal macrophages induces mucosal IL-22 production in Crohn's disease	Inflamm Bowel Dis.	20(8)	1426-34	2014
<u>Kanai T</u> , Miyazaki S, Akatsu T, Nakagawa M, Kameyama K	Long-term follow-up after pancreatoduodenectomy with portal vein resection for a huge solid pseudopapillary neoplasm in an adolescent girl	Keio J Med.	63(3)	52-9	2014
Matsuoka K, Mizuno S, Hayashi A, Hisamatsu T, Naganuma M, <u>Kanai T</u>	Fecal Microbiota Transplantation for Gastrointestinal Diseases	Review Keio Journal of Medicine	63(4)	69-74	in press
<u>Kanai T</u> , Matsuoka K, Naganuma M, Hayashi A, Hisamatsu T	Diet, microbiota, and inflammatory bowel disease: lessons from Japanese foods	Korean J Intern Med.	29(4)	409-15	2014
Yoneno K, Hisamatsu T, Matsuoka K, Okamoto S, Takayama T, Ichikawa R, Sujino T, Miyoshi J, Takabayashi K, Mikami Y, Mizuno S, Wada Y, Yajima T, Naganuma M, Inoue N, Iwao Y, Ogata H, Hasegawa H, Kitagawa Y, Hibi T, <u>Kanai T</u>	Risk and management of intra-abdominal abscess in Crohn's disease treated with infliximab	Digestion.	89(3)	201-8	2014
Hisamatsu T, Naganuma M, Matsuoka K, <u>Kanai T</u>	Diagnosis and Management of Intestinal Behçet's disease	Clin J Gastroenterol.	7	205-212	2014
Sakuraba A, Iwao Y, Matsuoka K, Naganuma M, Ogata H, <u>Kanai T</u> , Hibi T	Endoscopic and pathologic changes of the upper gastrointestinal tract in Crohn's disease	Biomed Res Int.	2014	610767	2014
Usui S, Hosoe N, Matsuoka K, Kobayashi T, Nakano M, Naganuma M, Ishibashi Y, Kimura K, Yoneno K, Kashiwagi K, Hisamatsu T, Inoue N, Serizawa H, Hibi T, Ogata H, <u>Kanai T</u>	Modified bowel preparation regimen for use in second-generation colon capsule endoscopy in patients with ulcerative colitis	Dig Endosc.	26(5)	665-72	2014
Mikami Y, Mizuno S, Nakamoto N, Hayashi A, Sujino T, Sato T, Kamada N, Matsuoka K, Hisamatsu T, Ebinuma H, Hibi T, Yoshimura A, <u>Kanai T</u>	Macrophages and Dendritic Cells Emerge in the Liver during Intestinal Inflammation and Predispose the Liver to Inflammation	PLoS One.	9(1)	e84619	2014

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
松井敏幸, 山崎一朋, 久部高司, 青見賢明, 諸隈 強, 矢野 豊, 高木靖寛, 平井郁仁, 岩下明德, 岩男 泰, 松本主之, 大井秀久, 安藤 朗, 江崎幹宏, 青柳邦彦, 杉田 昭, 仲瀬裕志, 藤谷幹浩, 田中信治, 清水誠治, 国崎玲子, 飯塚文瑛, 春間 賢	潰瘍性大腸炎に伴う colitic cancer の発育進展 遡及例からみた初期病変推定とその形態変化	胃と腸	49(19)	1517-1532	2014
伴 慎一, 清水道生, 山岸秀嗣, 上田善彦, 金柿久里子, 高杉秀明, 小柳佳成, 平田嘉幸, 関根忠一, 林 宏行, 杉田 昭, 堀口 尚, 佐藤英章	病理組織からみた colitic cancer の初期病変	胃と腸	49(10)	1407-1422	2014
小金井一隆, 辰巳健志, 二木 了, 黒木博介, 山田恭子, 杉田 昭	手術適応と術式の選択	臨床と研究	91(8)	24-30	2014
小山文一, 藤井久男, 中島祥介, 杉田昭, 荒木俊光, 池内浩基, 大毛宏基, 中村利夫, 根津理一郎, 橋本可成, 福島浩平, 二見喜太郎, 舟山裕士, 前田清, 吉岡和彦, 渡邊聡明, 渡邊昌彦	潰瘍性大腸炎に合併した肛門病変—第2報—厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する研究」班外科系プロジェクト研究 外科系関連施設・肛門科施設のアンケート調査結果	日本大腸肛門病学会雑誌	67(6)	380-389	2014
Kazuhiro Watanabe, Iwao Sasaki, Kouhei Fukusima, Kitaro Futami, Hiroki Ikeuchi, Akira Sugita, Riichiro Nezu, Tsunekazu Mizushima, Shingo Kameoka, Masato Kusunoki, Kazuhiko Yoshioka, Yuji Funayama, Toshiaki Watanabe, Hisao Fujii, Mamoru Watanabe	150. Long-term incidence and characteristics of intestinal failure in Crohn's disease : a multicenter study	Journal of Gastroenterology	49	231-238	2014
Yoshino T, Nakase H, Minami N, Yamada S, Matsuura M, Yazumi S, Chiba T	Efficacy and safety of granulocyte and monocyte adsorption apheresis for ulcerative colitis: A meta-analysis	Dig Liver Dis	46	219-226	2014
Minami N, Yoshino T, Nakase H	Unique endoscopic findings of colitis-associated colorectal cancer in a patient with ulcerative colitis and Lynch syndrome	J Crohns Colitis	8	336-337	2014
Nakase H, Honzawa Y, Toyonaga T, Yamada S, Minami N, Yoshino T, Matsuura M	Diagnosis and Treatment of Ulcerative Colitis with Cytomegalovirus Infection: Importance of Controlling Mucosal Inflammation to Prevent Cytomegalovirus Reactivation	Intest Res	12	5-11	2014
Honzawa Y, Nakase H, Shiokawa M, Yoshino T, Imaeda H, Matsuura M, Kodama Y, Ikeuchi H, Andoh A, Sakai Y, Nagata K, Chiba T	Involvement of interleukin-17A-induced expression of heat shock protein 47 in intestinal fibrosis in Crohn's disease	GUT	12	1902-12	2014
Yamada S, Yoshino T, Matsuura M, Minami N, Toyonaga T, Honzawa Y, Tsuji Y, Nakase H	Long-term efficacy of infliximab for refractory ulcerative colitis: results from a single center experience	BMC Gastroenterology	14	80	2014
Yoshino T, Nakase H	Not the end of the role of anti-viral therapy in ulcerative colitis with cytomegalovirus reactivation	Aliment Pharmacol Ther	39	1247	2014
Hirano T, Matsuura M, Nakase H	Pulmonary Mycobacterium avium Infection in a Patient with Crohn's Disease under Azathioprine Treatment	Case Rep Gastroenterol	8	182	2014
Arasawa S, Nakase H, Minami N	Mesenteric lymphoma with chylous ascites	J Gastroenterol Hepatol	29	1570	2014
Usui S, Hosoe N, Matsuoka K, Kobayashi T, Nakano M, Naganuma M, Ishibashi Y, Kimura K, Yoneno K, Kashiwagi K, Hisamatsu T, Inoue N, Serizawa H, Hibi T, Ogata H, Kanai T	Modified bowel preparation regimen for use in second-generation colon capsule endoscopy in patients with ulcerative colitis.	Dig Endosc	26(5)	665-672	2014
日比紀文, 小林 拓, 中野 雅	内科疾患 最新の治療 明日への指針(第2章) 消化器 潰瘍性大腸炎	内科	113(6)	1059-1061	2014
日比紀文, 小林 拓, 中野 雅, 渡辺憲明	直腸投与製剤 これまで集積されたノウハウと薬物治療の最前線 エキスパートに学ぶ! 薬物治療における直腸投与製剤の位置づけと活用のポイント 潰瘍性大腸炎	薬局	65(9)	2426-2430	2014
日比紀文, 小林 拓, 中野 雅	生物学的製剤の適応があるリウマチ類縁疾患 炎症性腸疾患	Rheumatology Clinical Research	3(2)	78-82	2014
小林 拓, 筋野智久, 加藤裕佳子, 中野 雅, 日比紀文	IBD 診療に有用なインデックスはこれだ! IBD 診療に使用されるインデックスの今後の展望	IBD Research	8(1)	37-42	2014
日比紀文, 小林 拓, 中野 雅	ここまで来た、炎症性腸疾患の新展開 潰瘍性大腸炎の内科治療 近年の変化	成人病と生活習慣病	44(3)	311-315	2014

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Saito E, <u>Nagahori M</u> , Fujii T, Otsuka K, Watanabe M	Efficacy of salvage therapy and its effect on operative outcomes in patients with ulcerative colitis	Digestion	89(1)	55-60	2014
Ohfuji S, Fukushima W, Watanabe K, Sasaki S, Yamagami H, <u>Nagahori M</u> , Watanabe M, Hirota Y, for the Japanese Case-Control Study Group for Ulcerative Colitis	Pre-illness isoflavone consumption and disease risk of ulcerative colitis: a multicenter case-control study in Japan	PloS One.	9	110270	2014
Fujii T, Naganuma M, Kitazume Y, Saito E, <u>Nagahori M</u> , Ohtsuka K, Watanabe M	Advancing magnetic resonance imaging in Crohn's disease	Digestion	89(1)	24-30	2014
Takenaka K, Ohtsuka K, Kitazume Y, <u>Nagahori M</u> , Fujii T, Saito E, Naganuma M, Araki A, Watanabe M	Comparison of magnetic resonance and balloon enteroscopic examination of the small intestine in patients with Crohn's disease	Gastroenterology	147(2)	334-342	2014
Hisamatsu T, Ueno F, Matsumoto T, Kobayashi K, Koganei K, Kunisaki R, Hirai F, <u>Nagahori M</u> , Matsushita M, Kobayashi K, Kishimoto M, Takeno M, Tanaka M, Inoue N, Hibi T	The 2nd edition of consensus statements for the diagnosis and management of intestinal Behçet's disease: indication of anti-TNF $\alpha$ monoclonal antibodies	J Gastroenterol.	49(1)	156-162	2014
長沼 誠, 鈴木康夫, 松岡克善, 金井隆典, 国崎玲子, 吉村直樹, <u>長堀正和</u> , 渡辺 守	活動性潰瘍性大腸炎に対する外来タクロリムス投与の安全性および血中濃度推移に関する前向き多施設共同研究	日本消化器病学会雑誌	111(2)	276-287	2014
Tanida S, Inoue N, Kobayashi K, Naganuma M, Hirai F, Iizuka B, Watanabe K, Mitsuyama K, Inoue T, Ishigatsubo Y, Suzuki Y, <u>Nagahori M</u> , Motoya S, <u>Nakamura S</u> , Arora V, Robinson AM, Thakkar RB, Hibi T	Adalimumab for the Treatment of Japanese Patients with Intestinal Behçet's Disease	Clin Gastroenterol Hepatol.	in press		2015
Ogawa T, Ohda Y, Nagase K, Kono T, Tozawa K, Tomita T, Iimuro M, Hida N, Oshima T, Fukui H, Hori K, Watari J, <u>Nakamura S</u> , Miwa H	Evaluation of discomfort during colonoscopy with conventional and ultrathin colonoscopes in ulcerative colitis patients	Dig Endosc.	27(1)	99-105	2015
Hirai F, Watanabe K, Matsumoto T, Iimuro M, Kamata N, Kubokura N, Esaki M, Yamagami H, Yano Y, Hida N, <u>Nakamura S</u> , Matsui T	Patients' assessment of adalimumab self-injection for Crohn's disease: a multicenter questionnaire survey (The PEARL Survey)	Hepatogastroenterology.	61(134)	1654-60	2014
Hao Y, Nagase K, Hori K, Wang S, Kogure Y, Fukunaga K, Kashiwamura S, Yamamoto S, <u>Nakamura S</u> , Li J, Miwa H, Noguchi K, Dai Y	Xilei san ameliorates experimental colitis in rats by selectively degrading proinflammatory mediators and promoting mucosal repair	Evid Based Complement Alternat Med.	2014	569587	2014
Yokoyama Y, Fukunaga K, Kamikozuru K, Sato T, Kawai M, Nogami K, Nagase K, <u>Nakamura M</u> , Iimuro M, Hida N, <u>Nakamura S</u>	Crohn's disease complicated by hepatitis B virus successfully treated with the use of adsorptive depletion of myeloid lineage leucocytes to suppress inflammatory cytokine profile	Cytotherapy.	16(6)	821-5	2014
Kohashi M, Nishiumi S, Ooi M, Yoshie T, Matsubara A, Suzuki M, Hoshi N, Kamikozuru K, Yokoyama Y, Fukunaga K, <u>Nakamura S</u> , Azuma T, Yoshida M	A novel gas chromatography mass spectrometry-based serum diagnostic and assessment approach to ulcerative colitis	J Crohns Colitis.	8(9)	1010-21	2014
樋田信幸, 飯室正樹, <u>中村志郎</u>	内視鏡検査からみた colitic cancer の初期病変 遡及例の検討を含めて 通常内視鏡所見を中心に	胃と腸	49(10)	1435-45	2014
樋田信幸, <u>中村志郎</u>	潰瘍性大腸炎 Surveillance と発癌リスク	臨牀と研究	91(8)	1029-32	2014
中村志郎, 樋田信幸, 飯室正樹, 宮寄孝子, 横山陽子, 上小鶴孝二, 中村美咲, 奥 順介, 河合幹夫, 佐藤寿行, 堀 和敏, 高川哲也	難治性潰瘍性大腸炎に対する抗 TNF- $\alpha$ 抗体療法の治療戦略	消化器内科	58(6)	722-9	2014
樋田信幸, <u>中村志郎</u>	薬物療法 5-ASA 製剤, 基本薬剤の使い方に熟知する	Medicina	51(6)	1054-6	2014
中村孝裕, 桑原絵里加, <u>西脇祐司</u>	【ここまで来た、炎症性腸疾患の新展開】 炎症性腸疾患(IBD) 疫学	成人病と生活習慣病	44(3)	251-255	2014
Watanabe K, Sasaki I, <u>Fukushima K</u> , Futami K, Ikeuchi H, Sugita A, Nezu R, Mizushima T, Kameoka S, Kusunoki M, Yoshioka K, Funayama Y, watanabe T, Fujii H, Watanabe M	Long-term incidence and characteristics of intestinal failure in Crohn's disease. Amulticenter study	J Gastroenterol	49	231-238	2014
渡辺和宏, 長尾宗紀, 羽根田 祥, 舟山裕士, 高橋賢一, 内藤 剛, 海野倫明, <u>福島浩平</u>	ディベート 炎症性腸疾患の外科治療 切除吻合法(手縫い吻合 VS 機械吻合)	外科	76(3)	261-266	2014

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
小山文一, 藤井久男, 中島祥介, 杉田昭, 荒木俊光, 池内浩基, 大毛宏喜, 中村利夫, 根津理一郎, 橋本可成, 福島浩平, 二見喜太郎, 舟山裕士, 前田清, 吉岡和彦, 渡邊聡明, 渡邊昌彦	潰瘍性大腸炎に合併した肛門病変 第2報 厚生労働科学研究費補助金 難治性疾患克服研究事業「難治性炎症性腸管障害に関する調査研究」班 外科系プロジェクト研究 外科系関連施設・肛門科施設のアンケート調査結果	日本大腸肛門病学会誌	67(6)	別冊	2014
福島浩平, 羽根田祥, 渡辺和宏, 神山篤史, 長尾宗紀, 佐々木健吾, 舟山裕士, 高橋賢一, 佐々木健吾, 齋藤 喬	ここまできた炎症性腸疾患の新展開 炎症性腸疾患(IBD)回腸囊炎	成人病と生活習慣病	44	335-339	2014
Ueda T, Hokari R, Higashiyama M, Yasutake Y, Maruta K, Kurihara C, Tomita K, Komoto S, Okada Y, Watanabe C, Usui S, Nagao S, Miura S	Beneficial effect of an omega-6 PUFA-rich diet in non-steroidal anti-inflammatory drug-induced mucosal damage in the murine small intestine	World J Gastroenterol	21(1)	177-86	2015
Hozumi H, Hokari R, Shimizu M, Maruta K, Narimatsu K, Sato H, Sato S, Ueda T, Higashiyama M, Watanabe C, Komoto S, Tomita K, Kawaguchi A, Nagao S, Miura S	Phlebosclerotic colitis that was difficult to distinguish from collagenous colitis	Dig Endosc.	26(4)	594-8	2014
Watanabe C, Komoto S, Hokari R, Kurihara C, Okada Y, Hozumi H, Higashiyama M, Sakuraba A, Tomita K, Tsuzuki Y, Kawaguchi A, Nagao S, Ogata S, Miura S	Prevalence of serum celiac antibody in patients with IBD in Japan	J Gastroenterol.	49(5)	825-34	2014
Beppu T, Ono Y, Matsui T, Hirai F, Yano Y, Takatsu N, Ninomiya K, Tsurumi K, Sato Y, Takahashi H, Ookado Y, Koga A, Kinjo K, Nagahama T, Hisabe T, Takaki Y, Yao K	Mucosal healing of ileal lesions is associated with long-term clinical remission after infliximab maintenance treatment in patients with Crohn's disease	Dig Endosc	27(1)	73-81	2015
Takahashi H, Matsui T, Hisabe T, Hirai F, Takatsu N, Tsurumi K, Kanemitsu T, Sato Y, Kinjo K, Yano Y, Takaki Y, Nagahama T, Yao K, Washio M	Second peak in the distribution of age at onset of ulcerative colitis in relation to smoking cessation	J Gastroenterol Hepatol	29(8)	1603-1608	2014
Andoh A, Kobayashi T, Kuzuka H, Tsujikawa T, Suzuki Y, Hirai F, Matsui T, Nakamura S, Matsumoto T, Fujiyama Y	Characterization of gut microbiota profiles by disease activity in patients with Crohn's disease using data mining analysis of terminal restriction fragment length polymorphisms	Biomed Rep	2(3)	370-373	2014
Hirai F, Beppu T, Takatsu N, Yano Y, Ninomiya K, Ono Y, Hisabe T, Matsui T	Long-term outcome of endoscopic balloon dilation for small bowel strictures in patients with Crohn's disease	Dig Endosc	26(4)	545-551	2014
Hisabe T, Hirai F, Matsui T	Development and progression of colorectal cancer based on follow-up analysis	Dig Endosc	26(2)	73-77	2014
Hirai F, Takatsu N, Yano Y, Satou Y, Takahashi H, Ishikawa S, Tsurumi K, Hisabe T, Matsui T	Impact of CYP3A5 genetic polymorphisms on the pharmacokinetics and short-term remission in patients with ulcerative colitis treated with tacrolimus	J Gastroenterol Hepatol	29(1)	60-66	2014
Mitsuyama K, Niwa M, Masuda J, Yamasaki H, Kuwaki K, Takedatsu H, Kobayashi T, Kinjo F, Kishimoto K, Matsui T, Hirai F, Makiyama K, Ohba K, Abe H, Tsubouchi H, Fujita H, Maekawa R, Yoshida H, Sata M	Possible diagnostic role of antibodies to Crohn's disease peptide (ACP): results of a multicenter study in a Japanese cohort	J Gastroenterol	49	683-691	2014
Hisabe T, Hirai F, Matsui T, Watanabe M	Evaluation of diagnostic criteria for Crohn's disease in Japan	J Gastroenterol	49	93-99	2014
Yoshida N, Hisabe T, Inada Y, Kugai M, Yagi N, Hirai F, Matsui T, Iwashita A, Kato M, Yanagisawa A, Naito Y	The ability of a novel blue laser imaging system for the diagnosis of invasion depth of colorectal neoplasms	J Gastroenterol	49	73-80	2014
Maehata Y, Esaki M, Nakamura S, Hirahashi M, Ueki T, Iida M, Kitazono T, Matsumoto T	Risk of cancer in the rectal remnant after ileorectal anastomosis in patients with familial adenomatous polyposis. nfliximab: a single-center retrospective study	Dig Endosc			in press
Kawasaki K, Kurahara K, Yanai S, Kochi S, Fuchigami T, Matsumoto T	Low-dose aspirin and NSAIDs increases the risk of bleeding in patients with gastroduodenal ulcer. A single center, case-control study	Dig Dis Sci			in press

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Laine L, Kaltenbach T, Barkun A, McQuaid KR, Subramanian V, Soetikno R, East JE, Farraye FA, Feagan B, Ioannidis J, Kieasslich R, Krier M, Matsumoto T, McCabe R, Mökemüller K, Odze R, Picco M, Rubin DT, Rubin M, Rubio CA, RÜtter MD, Sanchez-Yague A, Sanduleanu S, Shergill A, Ullman T, Velayos F, Yakich D, Yang YXT	International consensus guidelines on surveillance and management of dysplasia in inflammatory bowel disease	Gastroenterology	in press		
Oryoji D, Hisamatsu T, Tsuchiya K, Umeno J, Ueda S, Yamamoto K, Matsumoto T, Watanabe M, Hibi T, Sasazuki T	Associations of HLA class I alleles in Japanese patients with Crohn's disease	Genes Immun	16	54-56	2015
Urakoka T, Tanaka S, Oka S, Matsuda T, Saito Y, Moriyama T, Higashi R, Matsumoto T	Feasibility of a novel colonoscope with extra-wide angle of view: a clinical study	Endoscopy	E-pub		2014
Nakamura S, Matsumoto T, Sugimori H, Esaki M, Kitazono T, Hashizume M	Emergency endoscopy for acute gastrointestinal bleeding. Prognostic value of endoscopic hemostasis and the AIMS65 score in Japanese patients	Dig Endosc	26	369-376	2014
Esaki M, Matsumoto T, Watanabe K, Arakawa T, Naito Y, Chiba T, Hibi T, Matsumoto T, Higuchi K, Goto H, Motoya S, Watanabe M	Use of capsule endoscopy in patients with Crohn's disease in Japan. A multicenter survey	J Gastroenterol Hepatol	29	96-101	2014
江崎幹宏, 松本主之	ここまで来た炎症性腸疾患の新展開ーカプセル内視鏡	成人病と生活習慣病	44(3)	289-292	2014
江崎幹宏, 森山智彦, 松本主之	小腸内視鏡検査ーどこまでわかるのか?	Medicina	51(6)	1038-41	2014
Hata K, Kazama S, Nozawa H, Kawai K, Kiyomatsu T, Tanaka J, Tanaka T, Nishikawa T, Yamaguchi H, Ishihara S, Sunami E, Kitayama J, Watanabe T	Laparoscopic surgery for ulcerative colitis: a review of the literature	Surg Today	Epub ahead		2014
岸川純子, 風間伸介, 畑 啓介, 安西 紘幸, 小澤毅士, 山口博紀, 石原聡一郎, 須並英二, 北山丈二, 渡邊聡明	【colitic cancerの初期病変-遡及例の検討を含めて】 colitic cancer 早期発見, 診断のためのサーベイランス法 ランダム生検と狙撃生検の比較	胃と腸	49(10)	1479-1486	2014
飯田祐基, 風間伸介, 石原聡一郎, 須並英二, 渡邊聡明	炎症性腸疾患(IBD) 癌化とサーベイランス	成人病と生活習慣病	44(3)	299-304	2014
Mukai A, Iijima H, Hiyama S, Fujii H, Shinzaki S, Inoue T, Shiraishi E, Kawai S, Araki M, Hayashi Y, Kondo J, Mizushima T, Kanto T, Egawa S, Nishida T, Tsujii M, Takehara T	Regulation of anergy-related ubiquitin E3 ligase, GRAIL, in murine models of colitis and patients with Crohn's disease	J Gastroenterol	49	1524-35	2014
Hiyama S, Iijima H, Shinzaki S, Inoue T, Shiraishi E, Kawai S, Araki M, Kato M, Hayashi Y, Nishida T, Fujii H, Mukai A, Shibata N, Sato S, Kiyono H, Gotoh K, Motooka D, Nakamura S, Iida T, Tsujii M, Takehara T	Peyer's patches play a protective role in nonsteroidal anti-inflammatory drug-induced enteropathy in mice	Inflamm Bowel Dis	20	790-9	2014
Inoue T, Iijima H, Arimitsu J, Hagiwara K, Kawai S, Shiraishi E, Hiyama S, Mukai A, Shinzaki S, Nishida T, Ogata A, Tsujii M, Takehara T	Amelioration of small bowel injury by switching from nonselective nonsteroidal anti-inflammatory drugs to celecoxib in rheumatoid arthritis patients: a pilot study	Digestion	89	124-32	2014
Sakurai T, Kashida H, Watanabe T, Hagiwara S, Mizushima T, Iijima H, Nishida N, Higashitsuji H, Fujita J, Kudo M	Stress response protein Cirp links inflammation and tumorigenesis in colitis-associated cancer	Cancer Res			in press
Iizuka M, Etou T, Yagisawa H, Ishii T, Sagara S	One Year of Infliximab Therapy Successfully Improved a Case of Refractory Pouchitis without the Use of Antibiotics	Intern Med	53	2581-2583	2014
木村美奈子, 飯塚政弘, 保坂薫子, 大隅康之, 相良志穂	胃X線検査によるヘリコバクターピロリ感染の予測について	人間ドック	28	774-780	2014
Iizuka M, Sagara S, Oshima Y, Kagaya T, Hatakeyama C, Itaba M	Obesity as a risk factor for fatty liver and nonalcoholic fatty liver disease in the general population	Medical J Akita Red Cross Hosp	2	16-18	2014
川原明子, 保坂薫子, 佐藤真喜子, 相良志穂, 飯塚政弘	精密検査の受診行動を促すための支援ー胃がん検診における精密検査の未受診・受診理由の実態調査よりー	秋田赤十字病院医学誌	2	19-23	2014

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Sakuraba H, Ishiguro Y, Hasui K, Hiraga H, Fukuda S, Shibutani K, Takai Y	Prediction of maintained mucosal healing in patients with Crohn's disease undertreatment with infliximab using diffusion-weighted magnetic resonance imaging	Digestion	89(1)	49-54	2014
Kazuha HATTA, Shimpei OGAWA, Satoru SHIMIZU, Michio ITABASHI, Shingo KAMEOKA	Preoperative D-dimer Measurement for Assessment of Venous Thromboembolism in General and Abdominal Surgical Cases	J Tokyo Wom Med Unive	84(Extra3)	E397-E405	2014
Michio ITABASHI, Sayumi NAKAO, Yoshiko BAMBA, Takuzou HASHIMOTO, Tomoichiro HIROSAWA, Shinpei OGAWA, Shingo KAMEOKA	The Distribution of Mucosal Inflammation in Resected Specimens from Patients with Refractory Ulcerative Colitis	J Tokyo Wom Med Unive	84(Extra3)	E338-E341	2014
Michio ITABASHI, Yoshiko BAMBA, Takuzou HASHIMOTO, Tomoichiro HIROSAWA, Shinpei OGAWA, Shingo KAMEOKA	Short-term outcome of restorative proctocolectomy using Hand-Assisted Laparoscopic Surgery for Ulcerative Colitis	J Tokyo Wom Med Unive	84(Extra3)	E331-E337	2014
Michio ITABASHI, Sayumi NAKAO, Yoshiko BAMBA, Takuzou HASHIMOTO, Tomoichiro HIROSAWA, Shinpei OGAWA, Shingo KAMEOKA	A case of pneumatosis cystoides intestinalis in a patient with Crohn's disease	J Tokyo Wom Med Unive	84(Extra3)	E424-E429	2014
oshiko BAMBA, Michio ITABASHI, Sayumi NAKAO, Kazuha HATTA, Takeshi IHARA, Mamiko UBUKATA, Sanae KAJI, Takuzo HASHIMOTO, Tomoichiro HIROSAWA, Shinpei OGAWA, Akira SHESHIMO, Shingo KAMROKA	Risk Factors of Osteoporosis in Patients with Ulcerative Colitis Following Restrictive Proctocolectomy	J Tokyo Wom Med Unive	84(Extra3)	E360-E364	2014
Takuzo Hashimoto, Michio Itabashi, Shinpei Ogawa, Tomoichiro Hirotsawa, Yoshiko Bamba, Sanae Kaji, Mamiko Ubukata, Sayumi Nakao, Shingo Kameoka	A treatment strategy for preventing pouchitis as a postoperative complication of ulcerative colitis: the significance of the management of cuffitis	Surg Today	44	1730-1734	2014
上田 渉, 大庭宏子, 大川清孝	炎症性腸疾患をどのような患者で疑うか?	Medicina	51(6)	1016-1018	2014
上田 渉, 青木哲哉, 大川清孝	炎症性腸疾患と鑑別すべき腸管感染症とは?をどのような患者で疑うか?	Medicina	51(6)	1020-1023	2014
Ohfuji S, Fukushima W, Watanabe K, Sasaki S, Yamagami H, Nagahori M, Watanabe M, Hirota Y; Japanese Case-Control Study Group for Ulcerative Colitis	Pre-illness isoflavone consumption and disease risk of ulcerative colitis: a multicenter case-control study in Japan	PLoS One.	9(10)	e110270	2014
大藤さとこ, 福島若葉, 廣田良夫	【ここまで来た、炎症性腸疾患の新展開】 炎症性腸疾患のリスク因子(解説/特集)	成人病と生活習慣病	44(3)	256-260	2014
大藤さとこ, 福島若葉, 廣田良夫	【炎症性腸疾患攻略の手引き-これだけは知っておきたい!】ここまでわかってきた炎症性腸疾患の疫学と病態 今後の課題は? 炎症性腸疾患の疫学(解説/特集)	Medicina	51(6)	994-996	2014
金城 徹, 岸本一人, 外間 昭, 金城 福則	小腸、大腸疾患: 炎症性腸疾患	Hospitalist	2	809-827	2014
Mitsuyama K, Niwa M, Masuda J, Yamasaki H, Kuwaki K, Takedatsu H, Kobayashi T, Kinjo F, Kishimoto K, Matsui T, Hirai F, Makiyama K, Ohba K, Abe	Possible diagnostic role of antibodies to Crohn's disease peptide (ACP): results of a multicenter study in a Japanese cohort.	J Gastroenterol.	49	683-691	2014
堀木紀行, 十時利明, 北出 卓, 葛原正樹, 濱田康彦, 田中匡介, 荒木俊光, 楠 正人, 竹井謙之	【炎症性腸疾患の画像診断 modality】 大腸内視鏡 拡大内視鏡	Intestine	18(2)	119-126	2014
荒木俊光, 大北喜基, 藤川裕之, 廣純一郎, 問山裕二, 田中光司, 井上靖浩, 内田恵一, 毛利靖彦, 楠 正人	【ディベート 炎症性腸疾患の外科治療】 回腸肛門吻合 vs 回腸囊肛門管吻合 回腸肛門吻合	外科	76(3)	240-244	2014
藤川裕之, 太田章比古, 楠 正人	【炎症性腸疾患攻略の手引き-これだけは知っておきたい!】 炎症性腸疾患の治療 いままでの治療・これからの治療 各種薬剤をどのように使用していくのか? 外科治療 肛門部病変の診察と治療 視診, 触診は重要!	Medicina	51(6)	1088-1091	2014
大北喜基, 荒木俊光, 楠 正人	【潰瘍性大腸炎とクローン病の治療・食事療法のすべて】 潰瘍性大腸炎の外科治療	Nutrition Care	7(7)	621-624	2014
大北喜基, 荒木俊光, 藤川裕之, 内田恵一, 毛利靖彦, 楠 正人	【難治性潰瘍性大腸炎の治療戦略】 潰瘍性大腸炎における術前治療と術後合併症の関連	消化器内科	58(6)	759-764	2014
荒木俊光, 大北喜基, 廣純一郎, 問山裕二, 大井正貴, 田中光司, 井上靖浩, 毛利靖彦, 楠 正人	潰瘍性大腸炎に対する緊急手術後重篤合併症発生因子の検討	日本腹部救急医学会雑誌	34(5)	929-933	2014

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
内田恵一, 楠 正人	手術の tips and pitfalls 小児における潰瘍性大腸炎に対する手術の tips and pitfalls	日本外科学会雑誌	115(5)	283-286	2014
Araki T, Okita Y, Uchino M, Ikeuchi H, Sasaki I, Funayama Y, Fukushima K, Futami K, Maeda K, Iiai T, Itabashi M, Hase K, Motoya S, Kitano A, Mizushima T, Maeda K, Kobayashi M, Mohri Y, Kusunoki M	Risk factors for surgical site infection in Japanese patients with ulcerative colitis: a multicenter prospective study	Surg Today	44(6)	1072-1078	2014
Araki T, Okita Y, Fujikawa H, Ohi M, Tanaka K, Inoue Y, Uchida K, Mohri Y, Kusunoki M	Redo Ileal pouch-anal anastomosis combined with anti-TNF- $\alpha$ maintenance therapy for Crohn's disease with pelvic fistula: report of two cases	Surg Today	44(10)	1982-1985	2014
Uchida K, Araki T, Hashimoto K, Inoue M, Otake K, Koike Y, Okita Y, Fujikawa H, Tanaka K, Mohri Y, Kusunoki M	Segmental distribution in refractory ulcerative colitis: a histological evaluation in pediatric and adult patients who underwent proctocolectomy	Inflamm Bowel Dis	20(7)	1227-1235	2014
Araki T, Okita Y, Fujikawa H, Uchida K, Mohri Y, Kusunoki M	Functional and manometric outcomes after redo-ileal pouch anal anastomosis in patients with ulcerative colitis	Dig Surg	31(3)	190-196	2014
Koike Y, Uchida K, Tanaka K, Ide S, Otake K, Okita Y, Inoue M, Araki T, Mizoguchi A, Kusunoki M	Dynamic pathology for circulating free DNA in a dextran sodium sulfate colitis mouse model	Pediatr Surg Int	30(12)	1199-1206	2014
Tanaka K, Koike Y, Shimura T, Okigami M, Ide S, Toiyama Y, Okugawa Y, Inoue Y, Araki T, Uchida K, Mohri Y, Mizoguchi A, Kusunoki M	In vivo characterization of neutrophil extracellular traps in various organs of a murine sepsis model	PLoS One	9(11)	e111888	2014
Usui S, Hosoe N, Matsuoka K, Kobayashi T, Nakano M, Naganuma M, Ishibashi Y, Kimura K, Yoneno K, Kashiwagi K, Hisamatsu T, Inoue N, Serizawa H, Hibi T, Ogata H, Kanai T	Modified bowel preparation regimen for use in second-generation colon capsule endoscopy in patients with ulcerative colitis	Dig Endosc.	26(5)	665-72	2014
Steinbach EC, Kobayashi T, Russo SM, Sheikh SZ, Gipson G, Kennedy S, Uno JK, Mishima Y, Borst LB, Liu B, Herfarth H, Ting J, Sartor RB, Plevy SE	Innate PI3K p110 $\delta$ regulates Th1/Th17 development and microbiota-dependent colitis	J Immunol	192(8)	3958-68	2014
Yokoyama Y*, Matsuoka K*, Kobayashi T*[*First authorship shared], Sawada K, Fujiyoshi T, Ando T, Ohmishi Y, Ishida T, Oka M, Yamada M, Nakamura T, Ino T, Numata T, Aoki H, Sakou J, Kusada M, Maekawa T, Hibi T	A large-scale, prospective, observational study of leukocytapheresis for ulcerative colitis: Treatment outcomes of 847 patients in clinical practice	J Crohns Colitis	8(9)	981-9	2014
Kobayashi T, Hibi T	Ulcerative colitis: Which makes patients happier, surgery or anti-TNF?	Nat Rev Gastroenterol Hepatol	11(5)	272-3	2014
小林 拓	潰瘍性大腸炎とクローン病は何がどう違うのか(1)免疫学的違いは?	Medicina	51(6)	1004-7	2014
小林 拓, 岩男 泰, 下田将之, 長沼 誠, 金井隆典, 内野 基, 池内裕基, 杉野吉則	内視鏡的に適時的検討が可能であった潰瘍性大腸炎合併大腸粘膜内腫瘍の1例	胃と腸	49(10)	1511-1516	2014
岩男 泰, 下田将之, 杉野吉則, 浦岡 俊夫, 吉田諭史, 井上 詠, 小林 拓, 松岡克善, 長沼 誠, 久松理一, 緒方 晴彦, 金井隆典, 長谷川博俊, 三上 修治, 亀山香織, 八尾隆史	内視鏡検査からみた colitic cancer の初期病変-拡大内視鏡所見を中心に-	胃と腸	49(10)	1464-1478	2014
日比紀文, 小林 拓, 中野 雅	内科疾患 最新の治療 明日への指針(第2章) 消化器 潰瘍性大腸炎	内科	113(6)	1059-1061	2014
日比紀文, 小林 拓, 中野 雅, 渡辺 憲明	直腸投与製剤 これまで集積されたノウハウと薬物治療の最前線 エキスパートに学ぶ! 薬物治療における直腸投与製剤の位置づけと活用のポイント 潰瘍性大腸炎	薬局	65(9)	2426-2430	2014
日比紀文, 小林 拓, 中野 雅	生物学的製剤の適応があるリウマチ類縁疾患 炎症性腸疾患	Rheumatology Clinical Research	3(2)	78-82	2014
小林 拓, 筋野智久, 加藤裕佳子, 中野 雅, 日比紀文	IBD 診療に有用なインデックスはこれだ! IBD 診療に使用されるインデックスの今後の展望	IBD Research	8(1)	37-42	2014
日比紀文, 小林 拓, 中野 雅	ここまで来た、炎症性腸疾患の新展開 潰瘍性大腸炎の内科治療 近年の変化	成人病と生活習慣病	44(3)	311-315	2014



研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Okaniwa N, Sasaki M, Mizushima T, Ogasawara N, Funaki Y, Joh T, Kasugai K	eNOS plays an important role in the regulation of colonic inflammation: a novel therapeutic target and a predictive marker for the prognosis of ulcerative colitis	Free Radic Res.	12	1-10	2014
山口純治, 佐々木誠人, 舟木 康, 小笠原尚高, 飯田章人, 増井竜太, 野田久嗣, 岡庭紀子, 春日井邦夫	腸炎における新規バイオマーカー, Serum-derived Hyaluronan-Associated Proteins	Ulcer Research	41(1)	41-42	2014
Suzuki M, Sai JK, Shimizu T	Acute pancreatitis in children and adolescents	World J Gastrointest Pathophysiol	5(4)	416-26	2014
Jimbo K, Ohtsuka Y, Kojima Y, Hosoi K, Ohbayashi N, Ikuse T, Aoyagi Y, Fujii T, Kudo T, Shimizu T	Increased expression of CXCR3 axis components and matrix metalloproteinase in pediatric inflammatory bowel disease patients	Pediatr Int	56(6)	873-83	2014
Suzuki M, Saito N, Naritaka N, Nakano S, Minowa K, Honda Y, Ohtsuka Y, Yamataka A, Shimizu T	Scoring system for the prediction of severe acute pancreatitis in children	Pediatr Int	in press		2014
中野 聡, 鈴木光幸, 清水俊明	胎児・新生児の肝・胆道系の発生	周産期医学	44(10)	1273-6	2014
Mizoshita T, Tanida S, Tsukamoto H, Ozeki K, Katano T, Nishiwaki H, Ebi M, Mori Y, Kubota E, Kataoka H, Kamiya T, Joh T	Adalimumab Treatment in Biologically Naïve Crohn's Disease: Relationship with Ectopic MUC5AC Expression and Endoscopic Improvement	Gastroenterol Res Pract.	2014	687257	2014
Hosoe N, Naganuma M, Ogata H	Current status of capsule endoscopy through a whole digestive tract	Dig Endosc	27(2)	205-15	2015
Naganuma M, Hosoe N, Ogata H	Inflammatory bowel disease and novel endoscopic technologies	Dig Endosc	suppl 1	20-28	2014
Kobayashi K, Hirai F, Naganuma M, Watanabe K, Ando T, Nakase H, Matsuoka K, Watanabe M	A randomized clinical trial of mesalazine suppository: The usefulness and problems of central review of evaluations of colonic mucosal findings	J Crohns Colitis	8(11)	1444-53	2014
Tanida S, Inoue N, Kobayashi K, Naganuma M, Hirai F, Iizuka B, Watanabe K, Mitsuyama K, Inoue T, Ishigatsubo Y, Suzuki Y, Nagahori M, Motoya S, Nakamura S, Arora V, Robinson AM, Thakkar RB, Hibi T	Adalimumab for the Treatment of Japanese Patients With Intestinal Behçet's Disease	Clin Gastroenterol Hepatol	in press		2014
Kurtz CC, Drygiannakis I, Naganuma M, Feldman SH, Bekiaris V, Linden J, Ware CF, Ernst PB	Extracellular adenosine regulates colitis through effects on lymphoid and nonlymphoid cells	Am J Physiol Gastrointest Liver Physiol.	307(3)	G338-46	2014
Yoneno K, Hisamatsu T, Matsuoka K, Okamoto S, Takayama T, Ichikawa R, Sujino T, Miyoshi J, Takabayashi K, Mikami Y, Mizuno S, Wada Y, Yajima T, Naganuma M, Inoue N, Iwao Y, Ogata H, Hasegawa H, Kitagawa Y, Hibi T, Kanai T	Risk and management of intra-abdominal abscess in Crohn's disease treated with infliximab	Digestion.	89(3)	201-8	2014
Takenaka K, Ohtsuka K, Kitazume Y, Nagahori M, Fujii T, Saito E, Naganuma M, Araki A, Watanabe M	Comparison of Magnetic Resonance and Balloon Enteroscopic Examination of Deep Small Intestine in Patients with Crohn's Disease.	Gastroenterology.	147(2)	334-342	2014
Miyoshi J, Hisamatsu T, Matsuoka K, Naganuma M, Maruyama Y, Yoneno K, Mori K, Kiyohara H, Nanki K, Okamoto S, Yajima T, Iwao Y, Ogata H, Hibi T, Kanai T	Early intervention with adalimumab may contribute to favorable clinical efficacy in patients with Crohn's disease	Digestion	90(2)	130-136	2014
Yoneno K, Hisamatsu T, Matsuoka K, Okamoto S, Takayama T, Ichikawa R, Sujino T, Miyoshi J, Takabayashi K, Mikami Y, Mizuno S, Wada Y, Yajima T, Naganuma M, Inoue N, Iwao Y, Ogata H, Hasegawa H, Kitagawa Y, Hibi T, Kanai T	Risk and management of intra-abdominal abscess in Crohn's disease treated with infliximab	Digestion	89(3)	201-208	2014
Hisamatsu T, Naganuma M, Matsuoka K, Kanai T	Diagnosis and Management of Intestinal Behçet's disease. Review	Clin J Gastroenterol.	7	205-212	2014
Hisamatsu T, Ueno F, Matsumoto T, Kobayashi K, Koganei K, Kunisaki R, Hirai F, Nagahori M, Matsushita M, Kobayashi K, Kishimoto M, Takeno M, Tanaka M, Inoue N, Hibi T	The 2nd edition of consensus statements for the diagnosis and management of Intestinal Behçet's Disease - Indication of anti-TNF monoclonal antibodies	J Gastroenterol.	Jan;49(1)	156-162	2014

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
久松理一, 上野文昭, 日比紀文	テーマ: 腸管ペーチェット病と単純性潰瘍-腸管ペーチェット病の治療:改訂コンセンサスを中心に	INTESTINE	18(6)	587-592	2014
久松理一	薬の知識 「アダリムマブの潰瘍性大腸炎と腸管ペーチェット病とへの適応拡大」	臨床消化器内科	29(3)	371-375	2014
小山文一, 藤井久男, 中島祥介, 杉田昭, 荒木俊光, 池内浩基, 大毛宏喜, 中村利夫, 根津理一郎, 橋本可成, 福島浩平, 二見喜太郎, 舟山裕士, 前田清, 吉岡和彦, 渡邊聡明, 渡邊昌彦	潰瘍性大腸炎に合併した肛門病変-第2報	日本大腸肛門病会誌	67(6)	380-389	2014
伊藤太祐, 稲次直樹, 吉川周作, 増田勉, 榎本泰三, 内田秀樹, 久下博之, 大野 隆, 横谷倫世, 山岡健太郎, 下林孝好, 稲垣水美, 横尾貴史, 植田剛, 武内 拓, 小山文一, 藤井久男, 中島祥介, 榎本泰典, 大林千穂	大腸全摘後、遺残尿道瘻が原発と考えられる癌の発生をみたクローン病の一症例	日本大腸肛門病会誌	67(4)	279-284	2014
Ando K, Fujiya M, Konishi H, Ueno N, Inaba Y, Moriichi K, Ikuta K, Tanabe H, Ohtake T, Kohgo Y	Heterogeneous nuclear ribonucleoprotein A1 improves the intestinal injury by regulating apoptosis via trefoil factor 2 in mice with anti-CD3-induced enteritis	Inflammatory Bowel Diseases			in press
Dokoshi T, Fujiya M, Tanaka T, Sakatani A, Inaba Y, Ueno N, Kashima S Goto T, Sasajima J, Tominaga M, Ito T, Moriichi K, Tanabe H, Ikuta K, Ohtake T, Kohgo Y	A randomized study on the effectiveness of prophylactic clipping during endoscopic resection of colon polyps for the prevention of delayed bleeding	Biomed Research International			in press
Fujibayashi S, Goto T, Sasajima J, Utsumi T, Dokoshi T, Sakatani A, Tanaka K, Nomura Y, Ueno N, Kashima S, Inaba Y, Moriichi K, Fujiya M, Kohgo Y	Intraductal cholangioscopic visualization of moving fasciola hepatica	Gastrointestinal Endoscopy			in press
Takahashi N, Yoshizaki T, Hiranaka N, Kumano O, Suzuki T, Akanuma M, Yui T, Kanazawa K, Yoshida M, Naito S, Fujiya M, Kohgo Y, Ieko M	The production of coagulation factor VII by adipocytes is enhanced by tumor necrosis factor- $\alpha$ or isoproterenol	International Journal of Obesity			in press
Konishi H, Fujiya M, Kohgo Y	Host-Microbe Interactions via Membrane Transport Systems	Environ Microbiol			in press
Fujiya M, Tanaka K, Dokoshi T, Tominaga M, Ueno N, Inaba Y, Ito T, Moriichi K, Kohgo Y	Efficacy and adverse events of endoscopic mucosal resection (EMR) and submucosal dissection (ESD) for the treatment of colon neoplasms: A meta-analysis of studies comparing EMR and ESD	Gastrointestinal Endoscopy			in press
Ando K, Fujiya M, Ueno N, Ikuta K, Kohgo Y	Duodenal metastasis from head and neck cancer with an intestinal obstruction	Journal of Cytology & Histology	S4	16	2014
Fujiya M, Kohgo Y	ALK inhibition for the treatment of refractory epithelioid inflammatory myofibroblastic sarcoma	Internal Medicine	53(19)	2177-2178	2014
Fujiya M, Kashima S, Ikuta K, Dokoshi T, Sakatani A, Tanaka K, Ando K, Ueno N, Tominaga M, Inaba Y, Ito T, Moriichi K, Tanabe H, Saitoh Y, Kohgo Y	Decreased vessel networks and irregular vessel on narrow band imaging are useful findings to distinguish intestinal lymphoma from lymphoid hyperplasia	Gastrointest Endosc	80(6)	1064-71	2014
Fujiya M, Konishi H, Kamel M. K. M, Ueno N, Inaba Y, Moriichi K, Tanabe H, Ikuta K, Ohtake T, Kohgo Y	microRNA-18a induces apoptosis in colon cancer cells via the autophagolysosomal degradation of oncogenic heterogeneous nuclear ribonucleoprotein A1	Oncogene	33(40)	4847-56	2014
Ueno N, Hasebe T, Kaneko A, Yamamoto M, Wang Y, Fujiya M, Kohgo Y, Kono T, Musch MW, Chang EB	TU-100 (Daikenchuto) and Ginger Ameliorate Anti-CD3 Antibody Induced T Cell-Mediated Murine Enteritis: Microbe-Independent Effects Involving Akt and NF- $\kappa$ B Suppression	PLoS One	23;9(5)	e97456	2014
二見喜太郎, 東大二郎, 石橋由紀子, 上床崇吾, 三上公治, 平野公一, 三宅徹, 高橋宏幸, 阿部創世, 前川隆文	特集: デイベート 炎症性腸疾患の外科治療 II. Crohn 病に対する外科治療 4. 肛門病変の治療-seton 法 vs その他の治療-	外科	76(3)	287-292	2014
Watanabe K, Sasaki I, Fukushima K, Futami K, Ikeuchi H, Sugita A, Nezu R, Mizushima T, Kameoka S, Kusunoki M, Yoshioka K, Funayama Y, Watanabe T, Fujii H, Watanabe M	Long-term incidence and characteristics of intestinal failure in Crohn's disease: a multicenter study	J Gastroenterol	49(2)	231-238	2014

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Yoshino T, Nakase H, Minami N, Yamada S, <u>Matsuura M</u> , Yazumi S, Chiba T	Efficacy and safety of granulocyte and monocyte adsorption apheresis for ulcerative colitis: A meta-analysis	Dig Liver Dis	46	219-226	2014
Nakase H, Honzawa Y, Toyonaga T, Yamada S, Minami N, Yoshino T, <u>Matsuura M</u>	Diagnosis and Treatment of Ulcerative Colitis with Cytomegalovirus Infection: Importance of Controlling Mucosal Inflammation to Prevent Cytomegalovirus Reactivation	Intestinal Research	12	5-11	2014
Fukuchi T, Nakase H, Ubukata S, <u>Matsuura M</u> , Yoshino T, Toyonaga T, Shimazu K, Koga H, Yamashita H, Ito D, Ashida K	Therapeutic effect of intensive granulocyte and monocyte adsorption apheresis combined with thiopurines for steroid- and biologics-naïve Japanese patients with early-diagnosed Crohn's disease	BMC Gastroenterology	13	124	2014
Honzawa Y, Nakase H, Shiokawa M, Yoshino T, Imaeda H, <u>Matsuura M</u> , Kodama Y, Ikeuchi H, Andoh A, Sakai Y, Nagata K, Chiba T	Involvement of interleukin-17A-induced expression of heat shock protein 47 in intestinal fibrosis in Crohn's disease	Gut	12	1902-12	2014
Yamada S, Yoshino T, <u>Matsuura M</u> , Minami N, Toyonaga T, Honzawa Y, Tsuji Y, Nakase H	Long-term efficacy of infliximab for refractory ulcerative colitis: results from a single center experience	BMC Gastroenterology	14	80	2014
Hirano T, <u>Matsuura M</u> , Nakase H	Pulmonary Mycobacterium avium Infection in a Patient with Crohn's Disease under Azathioprine Treatment	Case Reports in Gastroenterol	8	182-185	2014
Nakase H, Yoshino T, <u>Matsuura M</u>	Role in calcineurin inhibitors for inflammatory bowel disease in the biologics era- when and how to use-	Inflammatory Bowel Diseases	20	2151-2156	2014
Saigusa K, Hisamatsu T, Handa T, Sujino T, Mikami Y, Hayashi A, Mizuno S, Takeshita K, Sato T, <u>Matsuoka K</u> , Kanai T	Classical Th1 cells obtain colitogenicity by co-existence of ROR $\gamma$ t-expressing T cells in experimental colitis	Inflamm Bowel Dis	20	1820-7	2014
Mikami Y, Mizuno S, Nakamoto N, Hayashi A, Sujino T, Sato T, Kamada N, <u>Matsuoka K</u> , Hisamatsu T, Ebinuma H, Hibi T, Yoshimura A, Kanai T	Macrophages and Dendritic Cells Emerge in the Liver during Intestinal Inflammation and Predispose the Liver to Inflammation	PLoS One	9	e84619	2014
<u>Matsuoka K</u> , Mizuno S, Hayashi A, Hisamatsu T, Naganuma M, Kanai T	Fecal microbiota transplantation for gastrointestinal diseases	Keio J Med	63	67-72	2014
<u>Matsuoka K</u> , Kanai T	The gut microbiota and inflammatory bowel disease	Semin Immunopathol	37	47-55	2014
Tanida S, Inoue N, Kobayashi K, Naganuma M, Hirai F, Iizuka B, Watanabe K, <u>Mitsuyama K</u> , Inoue T, Ishigatsubo Y, Suzuki Y, Nagahori M, Motoya S, Nakamura S, Arora V, Robinson AM, Thakkar RB, Hibi T	Adalimumab for the treatment of Japanese patients with intestinal Behçet's disease	Clin Gastroenterol Hepatol	in press		2014
光山慶一	炎症性腸疾患におけるプロバイオティクス・プレバイオティクス療法-最近の進歩	医学のあゆみ	251(1)	23-26	2014
Nagayama K, Takedatsu H, <u>Mitsuyama K</u> , Yamasaki H, Kuwaki K, Yoshioka S, Kobayashi T, Yamauchi R, Kakuma T, Sata M	Univariate analysis to examine predictors of response to leukocytapheresis in ulcerative colitis patients	Ther Apher Dial	18(3)	244-251	2014
<u>Mitsuyama K</u> , Niwa M, Masuda J, Yamasaki H, Kuwaki K, Takedatsu H, Kobayashi T, Kinjo F, Kishimoto K, Matsui T, Hirai F, Makiyama K, Ohba K, Abe H, Tsubouchi H, Fujita H, Maekawa R, Yoshida H, Sata M; Kyushu ACP Study Group	Possible diagnostic role of antibodies to Crohn's disease peptide (ACP): results of a multicenter study in a Japanese cohort	J Gastroenterol	49(4)	683-691	2014
Kaieda S, Kobayashi T, Moroki M, Honda S, Yuge K, Kawano H, <u>Mitsuyama K</u> , Sata M, Ida H, Hoshino T, Fukuda T	Successful treatment of rectal ulcers in a patient with systemic lupus erythematosus using corticosteroids and tacrolimus	Mod Rheumatol	24(2)	357-360	2014
光山慶一, 竹田津英稔, 桑木光太郎, 吉岡慎一郎, 山崎 博, 小林哲平, 山内亨介, 福永秀平	特集: ここまで来た、炎症性腸疾患の新展開: プロバイオティクス・プレバイオティクスと炎症性腸疾患	成人病と生活習慣病	44(3)	305-310	2014
Kohashi M, Nishiumi S, Ooi M, Yoshie T, Matsubara A, Suzuki M, Hoshi N, Kamikozuru K, Yokoyama Y, Fukunaga K, Nakamura S, Azuma T, <u>Yoshida M</u>	A novel gas chromatography mass spectrometry-based serum diagnostic and assessment approach to ulcerative colitis	Journal of Crohn's and Colitis	8(9)	1010-1021	2014

研究成果の刊行に関する一覧表(論文)

執筆者氏名	論文題名	雑誌名	巻(号)	ページ	出版年
Hagihara Y, Ohfuji S, <u>Watanabe K</u> , <u>Yamagami H</u> , Fukushima W, Maeda K, Kamata N, Sogawa M, Shiba M, Tanigawa T, Tominaga K, Watanabe T, Fujiwara Y, Hirota Y, Arakawa T	Infliximab and/or immunomodulators inhibit immune responses to trivalent influenza vaccination in adults with inflammatory bowel disease	J Crohns Colitis	8(3)	223-233	2014
Nakayama S, Tominaga K, Obayashi T, Okamoto J, Minamino H, Ominami M, Fukunaga S, Nagami Y, Sugimori S, Machida H, Okazaki H, Sogawa M, <u>Yamagami H</u> , Tanigawa T, <u>Watanabe K</u> , Watanabe T, Fujiwara Y, Arakawa T	The prevalence of adverse events associated with double-balloon enteroscopy from a single-centre dataset in Japan	Dig Liver Dis.	46(8)	706-709	2014
Kamata N, Oshitani N, <u>Watanabe K</u> , Watanabe K, Hosomi S, Noguchi A, Yukawa T, <u>Yamagami H</u> , Shiba M, Tanigawa T, Watanabe T, Tominaga K, Fujiwara Y, Arakawa T	Efficacy of Concomitant Elemental Diet Therapy in Scheduled Infliximab Therapy in Patients with Crohn's Disease to Prevent Loss of Response	Dig Dis Sci.	2014 Dec 23 [Epub ahead of print]		2015
Hiroko Matsumoto, Satoko Ohfuji, <u>Kenji Watanabe</u> , <u>Hirokazu Yamagami</u> , Wakaba Fukushima, Kazuhiro Maeda, Noriko Kamata, Mitsue Sogawa, Masatsugu Shiba, Tetsuya Tanigawa, Kazunari Tominaga, Toshio Watanabe, Yasuhiro Fujiwara, Yoshio Hirota, Tetsuo Arakawa	Booster influenza vaccination does not improve immune response in adult inflammatory bowel disease patients treated with immunosuppressives: a randomized controlled trial	J Gastroenterol	in press		2015
<u>渡辺憲治</u> , 鎌田紀子, <u>山上博一</u>	【炎症性腸疾患攻略の手引き-これだけは知っておきたい!】 炎症性腸疾患の診断は、どこまで進歩してきたか? 必要な検査 正確な診断のために何をどう行うか? 炎症性腸疾患診断における画像検査のアルゴリズム	Medicina	51(6)	1024-1029	2014
野口篤志, <u>渡辺憲治</u> , 味岡洋一, 十河光栄, 寺田良太, 森本謙一, 宮崎孝子, 鎌田紀子, <u>山上博一</u> , 谷川徹也, 富永和作, 渡辺俊雄, 藤原靖弘, 前田 清, 荒川哲男	【小腸潰瘍の鑑別診断】 再発を来した Crohn 病関連小腸癌の 1 例	胃と腸	49(9)	1339-1345	2014
<u>渡辺憲治</u> , 西下正和, 細見周平, 渡部公彦, 野口篤志, 末包剛久, 湯川知洋, 山崎智朗, 鎌田紀子, <u>山上博一</u> , 佐々木英二, 佐野弘治, 藤原靖弘, 根引浩子, 荒川哲男	【colitic cancer の初期病変-遡及例の検討を含めて】 内視鏡検査からみた colitic cancer の初期病変 遡及例の検討を含めて (NBI) 拡大内視鏡所見を中心に	胃と腸	49(10)	1457-1463	2014
<u>渡辺憲治</u> , 久松理一, 渡辺 守	新しい時代に入った炎症性腸疾患を考え直す	最新医学	70(2)		2015